

思春期サポートプレイス通信



新緑が目には鮮やかな、すがすがしい季節となりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。
思春期サポートプレイス通信を御覧いただき、ありがとうございます。この通信では、思春期サポートプレイス講演会の案内や報告等をさせていただきます。この通信や当センターの各種事業を通じて、皆様をサポートしていきます。よろしくお願いいたします。

令和5年度 第1回 思春期サポートプレイス講演会

6月17日(土)

午後2時から
午後4時30分まで

無気力に見える子供に、どう接するか

～コロナ禍が子供に与えた影響～

講師：東京学芸大学名誉教授 小林 正幸 氏

お申し込みは、

03-3360-4192

までお電話ください。

(月～金：午前9時から午後5時まで)

第1回思春期サポートプレイス講演会講師、**小林正幸先生**から
講演会に参加する皆様へ、**メッセージ**をいただきました！

ここ数年の長期欠席や不登校の増加は、コロナ禍の災害の影響だと考えられます。

では、**コロナが収束すれば、長期欠席や不登校は減るのでしょうか？**

私は、残念ながら、そうはならないと考えています。なぜでしょうか？

それにはいくつかの理由が挙げられますが、ひとつは、**不登校が生じると問題の解消までに時間がかかる**からです。

そのきっかけが何であれ、本人の想定以上に欠席が続くと、欠席を続けさせる要因が新たに生じ、

きっかけとなった要因が取り除かれても、欠席が続いてしまいます。

それは**思い通りに動けない体験を繰り返すことで子供が連日傷つく**からなのです。これが子供の自信を損ないます。

子供が学校に行けなくなったとき、大人たちは、原因はどこにあるのかと、原因探しを始めます。

「育て方が悪かった」「学校でいじめられたから」「先生の対応が悪い」。

しかし、**原因を取り除けば問題が解決するわけではありません。**

不登校になって、「このままでいい」と思っている子はひとりもいないのです。

親にとって「不登校」は困ったことではあるけれど、実は子供にとってはプラスの面があります。

それは、どのような面なのでしょう。

そして、不登校の時期をプラスの面とするために、保護者にできることは？

それがわかると、子供の見方も少し変わってくるのではないのでしょうか。